

健康 ぶらざ

子宮内膜症

— 月経痛が強くなってきていませんか? —

鳥取大学医学部産科婦人科学分野 教授 谷口 文紀

企画：
日本医師会

No. 607

病態と症状

子宮内膜症は、本来は子宮の内側を覆う「子宮内膜」に似た組織が、子宮の外側にできてしまう病気で、ダグラス窩^か(子宮と直腸の間)、卵巣、腹膜*などの子宮周囲(図)に多くみられます。卵巣にできた場合は卵巣チョコレート嚢胞^{のうほう}と呼ばれます。

主な症状は、月経痛(下腹痛・腰痛)と不妊です。月経痛は徐々に強くなる傾向があります。排便痛や性交痛がみられることもあり、この病気の人の約半数に不妊がみられるといわれています。

* 腹膜：腹部の臓器の全体または一部を覆っている薄い膜。

原因

原因は、月経血が卵管を逆流してお腹の中に流れ込み、卵巣や腹膜に付着するという「月経血逆流説」が有力ですが、まだ完全には分かっていません。

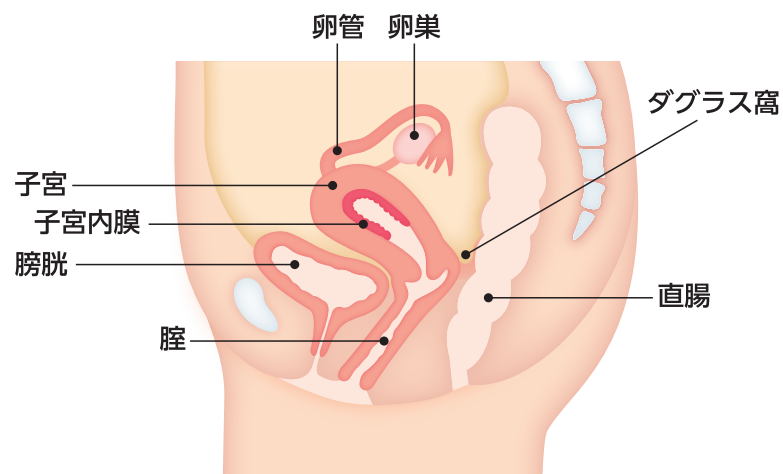


図 子宮とその周囲

診断・治療

内診、経膈超音波検査、MRI、腹腔鏡、血液検査などを組み合わせて診断します。特に卵巣チョコレート嚢胞は、まれに悪性化の可能性が指摘されていて、定期的な画像検査が大切です。

治療法には、薬物療法(ホルモン療法など)と手術療法があります。年齢、病態、症状の程度、妊娠希望の有無などを考慮して治療方針を決めます。ホルモン療法で効果が得られない場合には、腹腔鏡下手術を検討します。妊娠を希望する場合には、鎮痛剤などによる対症療法を行いつつ、必要に応じて体外受精などの生殖補助医療を視野に入れます。

受診の目安

思春期から強い月経痛がある女性は、将来的に子宮内膜症を発症するリスクが高いとされています。月経痛が徐々に強くなっていると感じたら、早めに婦人科を受診しましょう。



日本医師会 LINE 公式アカウントでは、健康に関する情報やプレゼント企画を定期的に配信しています。

友だち
募集中

友だち登録をお願いします。

LINEの友だち登録にはLINEアカウントが必要です。
LINEアカウントの作成方法は、LINE公式サイトをご覧ください。

